

# 下鎌田西小学校応援団実践報告書

## 1 校長及び代表者氏名

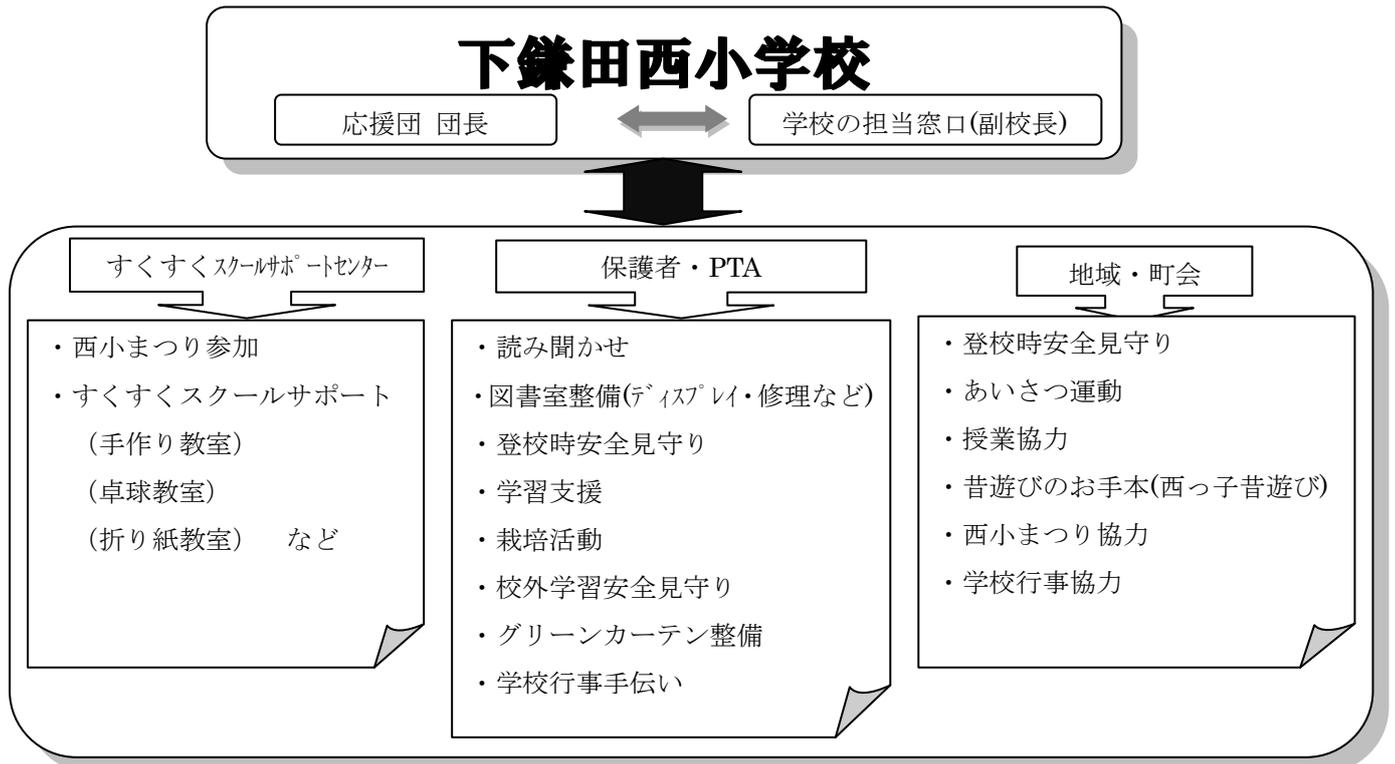
下鎌田西小学校長 今泉 洋子  
代表(団長) 大橋 一成

## 2 今年度の活動内容

### 下鎌田西小学校応援団 4本の柱

| 図書活動  | 栽培活動  | 安全活動  | 学習活動・技術支援  |
|---|---|---|--|
| 図書活動ボランティア<br>(保護者・地域の方)による図書整備や環境美化の支援を受けている。定期的に学級での読み聞かせや集会活動への支援を受けている。 | 校庭の緑化の推進をしている。グリーンカーテンの整備や樹木プレートの作成などの緑化計画、瓢箪栽培の支援を受けている。 | 子供見守り隊として、地域の方が中心となり登校の安全を見守り、登校時の声かけやあいさつ運動を進めている。 | 地域めぐり等の校外学習の際の安全見守りや、グループ学習の際の支援を受けている。(家庭科でのミシンボランティアやかけ算九九の学習など) |

## 3 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

- ・図書室の装飾により、子供たちが季節感を感じながら明るい環境の中で、読書活動に取り組んでいる。整備され、楽しく使いやすい図書室を、応援団の常時活動により維持、管理されている。
- ・西小まつりでは、樹木プレートや図書室の飾り作りの工作のイベントを行い、作品を図書室に掲示したり、樹木に設置したりしたことで、図書室の使い方に気をつけたり、エコや自然に関する興味、関心が高まってきたりしている。
- ・登校時の見守り、あいさつも定着し、子供たちも大きな声であいさつができています。

### <課題>

- ・応援団は4つの柱（図書・栽培・安全・学習）で構成されているが、グループごとの縦割りの活動になりがちで横の連携がまだ十分ではない。垣根を越えたより強い連携を図っていくことは課題である。
- ・応援団最大の課題は、メンバーの確保、増強であり、毎年苦慮している。本年度は、保護者が学校に集まる機会のPR用に読み聞かせのDVDを作成し、保護者会で披露した。活動自体に工夫をしながら、細く、長く応援団活動に参加していただけるメンバーの確保をしていきたい。

## 5 代表より

本年度より応援団団長の重責を任され、試行錯誤、挫折と喜びの一年でした。

学校応援団は、子供たちの笑顔が大好きです！

登校の見守り時の子供たちからの「おはようございます」のあいさつに、こちらがパワーをもらう。読み聞かせのあと、読んで聞かせた絵本に子供たちが集まり、「今度、図書の時間にこの絵本を借りるよ」という子供たちの言葉に胸が詰まる。図書室で読書をしている姿をコソコソ覗き込む。その時の本に集中できている姿に感動を感じる。グリーンカーテンを見上げ、「どこまでいくのかな？」という言葉に、子供たちと同じ無限の可能性を感じる。西小まつりで、校庭の木々のネームプレート作成ブースで真剣に作業する子供たちの姿に将来性を感じる。

勤労感謝集会で、感謝の言葉を子供たちからもらった瞬間、応援団団長であることに感謝し、職務の重さをずしりと感じた。

## 6 学校長より

本校の本年度の活動は、応援団団長の大橋一成さんを中心としたコーディネートにより、大変充実した応援団活動になりました。

図書室の整備、読み聞かせ、登校時の安全見守り、かけ算九九やミシン学習の学習支援等、様々な形で様々な方々から応援をいただきました。これまでの活動に加え、平和を考える集会で読み聞かせと本の紹介を通して、全校児童に平和の大切さを伝える新しい試みにも応援団の方々にご協力いただきました。また、本校周辺での区画整理の工事の中で、応援団や地域の方々の安全見守りは力強いサポートとなりました。これらの応援団の方々の活動が、子供たちのより深い学び、意欲の向上、そして充実感からこぼれる笑顔に繋がっています。

今後さらに、子供たちの安全と成長のために、地域の方々や保護者の方々と知恵を出し合って充実発展させていきたいと考えております。